

医師の性格特性と患者評価の共同意思決定との関連

1. 研究の対象

2019 年から 2020 年に 5 つの学術医療機関（昭和大学病院、岡山大学病院、信州大学病院、横浜市立大学病院、横浜市立大学総合医療センター）で行われた全身性エリテマトーデス患者を対象に医師への信頼に影響を及ぼす要因を検討することを主目的とした多施設コホート研究（TRUMP2-SLE プロジェクト）において、研究にご協力いただいている患者様およびその担当医師を対象とします。

2. 研究目的・方法

- ・本研究の目的は、医師の性格特性（ビッグファイブ）と患者評価の共同意思決定(SDM)との関連を明らかにすることです。この研究結果は、今後の SDM 推進における医師研修のあり方などに活かせるものと考えています。
- ・研究方法は、2019年から2020年に行われた、5つの学術医療機関（昭和大学病院、岡山大学病院、信州大学病院、横浜市立大学病院、横浜市立大学総合医療センター）での多施設コホート研究（TRUMP2-SLEプロジェクト）の全身性エリテマトーデス患者様およびその担当医情報を使用し、ベースラインでの医師の性格特性（5つのTIPI-Jスコア）と患者評価の共同意思決定(SDM-Q-9スコア)との関連を比較検討します。
- ・研究期間：倫理委員会承認日～2026年3月31日

3. 研究に用いる情報の種類

- 1) 患者基本情報：年齢、性別
- 2) 医師情報：年齢、性別、TIPI-Jスコア
- 3) 疾患関連情報：罹病期間、疾患活動性（SLEDAI）、慢性障害指標(SLICC-DI)、検査データ、SDM-Q-9スコア
- 4) 治療関連情報：プレドニゾロン投与量、免疫抑制剤併用、ヒドロキシクロロキン併用など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

研究責任者：

高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部臨床疫学講座 森下 繁美

TEL 088-888-2918